



佐川野小学校は、昨年度から、食農教育の研究指定を受け、食育と農業の観点から、教科横断的な活動を年間指導計画に位置付け、全校で様々な取組をしてきました。

特に農園活動においては、昨年度の反省を生かし、今年度は、五・六年生を中心にミニトマトを栽培し、ビニールハウスで栽培したミニトマトをJAのぎ松原大橋直売所で販売しました。

また、各学年毎に様々な野菜を栽培したり、収穫した野菜を給食の食材として食べたりするなど、充実した取組となりました。各学年の感想を紹介します。

「あかいシシトウ」

一年 澤田 佑樹
せいかつかで、シシトウのなえうえをしました。そだててみると、あかいシ

シトウができたことがありました。ほくは、あかくなるのはおもいませんでした。みんなでやったやさいづくりは、とてもたのしかったです。



「さがわのつ子まつりで はっぴょうしたよ」

二年 鈴木 蒼良
さがわのつ子まつりで一年生と、そだてた野さいについてのげきをしました。はずかしかったけど、たくさんれんしゅつをしたから、じょうずにできました。これから、にがてな野さいも食べられるようにがんばります。



「野菜大収穫！」

三年 杉山 幸志朗
ほくは、総合的な学習の時間に色々な野菜を育てました。クラス友達と協力して取り組みました。その中で、ピーマンやサツマイモがたくさん収穫できました。給食や家で食べることで、うれしかったです。



「野菜づくりで学んだこと」

四年 青木 彩良
私は、野菜づくりを通して、毎日休まずに世話をすることの大切さを学びました。夏には、世話をした野菜がいっぱい実りました。そして、野菜を収穫し家で食べてみると、とてもおいしく、今まで食べるのができなかった野菜も、食べられるようになりました。



「無農薬農薬作り」

五年 井上 萌愛
総合的な学習の時間に、害虫を駆除するため農薬作りをしました。環境にやさしい無農薬で育てられるように、よもぎ、唐辛子、焼酎など、身近な物から無農薬農薬を作ることができました。この農薬で他の病気にも効くのか試してみたいです。



「トマト販売をして」

六年 鈴木 星羅
私は、自分たちで育てたトマトを直売所で販売しました。販売体験での気付きを生かして、トマトをよりよくするための工夫を重ねた結果、売り上げをのぼすことができました。商品になるトマトを栽培する大変さと、買ってもらえたときの喜びを学ぶことができました。



★学校農園で収穫した野菜を食材にした給食献立



大学芋と赤飯



きゅうり入りサラダ



カレー



下仁田ねぎ入りごま汁